

かえでの森



第113号 2026年 1月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (TEL) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《理念》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として 喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します



謹賀新年

病院長 江藤秀頸

令和8年の始まり。初日の出を見た人もいるかもしれない。北海道東端にある納沙布岬は最も早い日の出が見られるところである。そこに「四島のかけ橋」という大きなモニュメントがある。前方には北方領土が見える。思ったより近くに見えるが、不法に占拠されたわが国固有の領土は近くに見えても遠い。

北海道最北端に位置する宗谷岬に「日本最北端の地」の碑がある。十里先には樺太がうっすらと見える。私は南樺太が日本の領土として描かれていた世界地図を子供の頃に見た記憶がある。日露戦争後に樺太の南半分は日本の領土となったが、第二次大戦後にロシアの領土となった。その樺太の方を向いて間宮林蔵の像もある。江戸時代の探検家であり、樺太が島であることを発見し、間宮海峡という名前を地図上に残している。私が訪れた昨年は奇しくも彼の生誕 150 年であった。

昨年は戦後 80 年という節目の年であり、天皇皇后両陛下の慰靈の旅など各地で様々な行事がなされた。長崎市浦上生まれの私の母は親戚を原爆で亡くした。毎年 8 月 9 日に長崎に行っていたその母も鬼籍に入った。爆心地近くの浦上天主堂では被爆により片方のみの状態になっていた「双塔の鐘」が昨夏復元した。その経緯は以下の通りである。原爆を開発した米国人一団の中に医師がいて、その孫が“浦上の人のために何かしたい”と被爆二世に相談する。“鐘の音なら原爆で亡くなつたすべての人に届くのではないか”と提案され、米国で募金活動を続けて成果が実ったとのことである。いい話である。

学生時代を含め 20 年近くを浦上天主堂の鐘の音を聴きながら過ごした私は何かに導かれるように神山復生病院に来て 15 年ほどが過ぎた。是非とも「双塔の鐘」の音を聴きに行きたいと思う。平和の鐘の音が世界中に届いてほしいと願っているが、残念ながらロシアにまで届くことはないであろう。この一年が平和であり、また皆さん一人ひとりにとって充実した年になることを祈っている。



介護医療院・ホスピス病棟 クリスマス会

ホスピス病棟 新山由樹

12月17日(水)、ホスピスラウンジにて神山復生病院のクリスマス会が開催されました。シスターによる「クリスマスってなあに?」の紙芝居朗読では、イエス・キリストのご降誕というクリスマスの起源に触れ、皆さんは静かに耳を傾けておられました。そして、「きよしこの夜」「まきびと 羊を」の歌声がフロアをやさしく包み込みました。また、今年はホスピス職員14名によるハンドベル演奏も披露しました。この演奏は、業務の合間をぬって職員が集まり、数か月にわたって練習を重ねてきたものです。何人かの患者さんからは事前に「楽しみにしているよ」と声をかけていただき、その思いに応えたいという気持ちで当日を迎えるました。音色に合わせて体を揺らし、手でリズムを取る姿も見られ、会場は職員と患者さんが心を一つにする温かな時間となりました。



職員によるハンドベル演奏



クリスマススイーツ



クリスマス慰問

シスター 徳永美智子

皆さんはサンタ村をご存じですか。フィンランドのひみつの村に住むサンタと小人たちの暮らしを描いた絵本をお読みになった事がおありでしょうか。

そのサンタさんが2025年12月14日(日)に神山復生病院を訪れてくれました。座間米軍キャンプの中に、カトリック座間教会があります。毎年、クリスマスのシーズンになるとサンタさんとして歌のプレゼントをして下さいます。今から78年前に富士米軍キャンプとの長いお付き合いから始まり、現在まで続いています。

クリスマスはイエス・キリストの誕生をお祝いする日、世界中が手をつなぎ、現代社会の殺伐とした日を互いに愛の日とすることが出来るように・・と願うクリスマスの日。平和な2026年を過ごせますように。

** マウリ・クンナス作「サンタクロースと小人たち」偕成社



12月25日(木)に静岡雙葉学園の学生さんたちの訪問がありました。可愛いサンタさんたちの訪問でした。ホスピスラウンジで若々しい歌声を聞かせてもらい、最後に生徒たちが作ったクリスマスカードをいただきました。





秋の味覚 さんまパーティー

小規模多機能型居宅介護事業所 マリアの家

管理者 小野 雄大

ここ数年、庶民の食卓の秋の味覚として代表的な「さんま」が、不漁によって価格が下がらず、私の家でも簡単に食卓に上がらなくなってしまいました。以前は、秋と言えばさんまと言っても良いぐらい、しょっちゅう夕食のおかずとしてさんまを食べていました。異常気象の影響は、日本の四季を変えてしまっているようです。そんな中、先年 11 月 26 日に、炭をおこしてさんまを焼いて食べるレクリエーション「秋の味覚さんまパーティー」を計画しましたが、諸般の事情で日程を変更し、12 月 1 日に実施しました。この日も運が悪く、強風によって炭をおこすことができず、急遽ホットプレートでさんまを焼くことになりました。利用者様たちとホットプレートを囲み、さんまを焼き室内はさんまの匂いでいっぱい。普段刻み食を食べている利用者様も頭と骨だけ残し、きれいにさんまを食べて「やっぱりさんまは美味しいね」と舌鼓を打っておられました。普段は、刻んだり細かくしないと食べられない方も、視覚や嗅覚や焼ける音などの五感を刺激されると、できないと思っていたことも常とは違い、目覚ましい機能を発揮されるのだなと痛感する行事となりました。本年も利用者の皆様が、楽しく自分らしく生活できるような行事を計画するべく、頑張って参ります。どうかご支援・ご協力をお願いいたします。



お喜楽カフェにお立ち寄りください



看護部長 杉山美貴子

年末に予定しておりました餅つき大会が、インフルエンザの蔓延により遭えなく中止となりました。そのため同時開催予定でありました「お喜楽カフェ」も残念ながら中止としました。8月から始めたお喜楽カフェは、どういうわけか苦難の連続で、なかなか思うように開催できずしております。しかし、地域の皆様の憩いの場、また介護相談などの安心の場として、今後も地域貢献できればと願っております。

新年度からは定期開催できるよう検討を進めておりますので、お喜楽カフェが開いている際には、どうぞお気軽に立ち寄りください。お待ちしております。



今回のおすすめ

『 Restaurant Emoa モーニングセット 』

今回のおすすめは、箱根仙石原の箱根ラリック美術館に併設された箱根エモア・テラスのレストラン・エモアの選べる卵料理のモーニングセット(1760円)です。朝9時から始まり、卵料理はとろとろオムレツ、香ばし目玉焼き、ふわふわスクランブルエッグから選べますがどれも魅力的で悩みます。その他クロワッサンとベーコン、地場野菜、ヨーグルト、ドリンクも付き大満足です。オプションもあり更にリッチになります。箱根の澄んだ空気の中優雅な朝のお食事、デートや自分へのご褒美にぜひ行ってみてください。ちなみにラストオーダーは10時30分ですがランチやカフェもやっているので、早起きが苦手な方も心配ありませんよ。

(紹介者 事務部 大島陽子)



画像にはオプションのこだわりスープと牛のゴロっとデミグラスソース、グリエールチーズが入っています



内科外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	江藤秀顕	吉津紗綾香	江藤秀顕	江藤秀顕	吉津紗綾香	江藤秀顕 (第1, 3, 5週) 第2, 4週休診	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診

インフルエンザワクチン・コロナワクチン接種の予約を承っております。



小規模多機能型居宅介護事業所 マリアの家 見学に来ませんか？

歌ったり、独自のゲームで楽しんだり、自然豊かな敷地内と一緒に散策しませんか？

皆さんに楽しめるレクリエーションを計画・実施いたします。まずはお気軽に遊びに来て下さい。

また、介護保険について・介護相談・高齢者一人暮らし中の不安など、お気軽にご相談ください。

通い・宿泊・訪問介護 随時お受けいたします。



連絡先

〒412-0033 御殿場市神山 738-44

☎0550-87-3880 FAX0550-87-3887 担当 小野・衛藤



薬局コラム



新年あけましておめでとうございます。令和8年の薬局コラム第一弾は、ワクチンについてです。

お子さんがいらっしゃるお母さんは、様々な種類のワクチンを打つために、ワクチニスケジュールに頭を悩ませたことがおありなのでは...

近年、大人を対象にした新しいワクチンが発売されています。今の時期は、インフルエンザワクチン、コロナワクチンを接種される方が多いですが、これら以外にも以前に紹介した帯状疱疹ワクチンだけでなく、乳児がかかるイメージが高いけれど、高齢者がかかると重症化しやすいRSウイルスワクチン。元々ある肺炎球菌ワクチンとは異なり、一度接種すると長期間免疫が得られる新たな肺炎球菌ワクチンがあります。これらワクチンは、当院でも接種可能になります。気になるワクチンがありましたらお気軽にご相談いただければ幸いです。

(薬局 永井祐佳)

編集後記

皆さん、明けましておめでとうございます。12月に御殿場看護学校、老人看護学実習Ⅰの2G目の

実習が当院でありました。内容は、当院の設立に関わる「命の遺産」DVDの鑑賞、記念館の見学、

終末期看護に関する講義、エンゼルケアとメイクの実際、もしバナゲームなど座学と事例検討などグループワークも合わせたプログラムになっています。

今回、講義の中で自分の大切な物・人など自分にとって大切にしていることを演習で行いました。その中で、目に見える者・物以外に、特別なものではなく日常生活にあるもので、自分が惹かれた言葉を紹介します。誰にでも挨拶をする、誰にでも優しく、笑顔でいること、父親からの言葉で「継続は力なり」、仏壇に手を合わせるでした。私の中で、凄いを連発していました。日々の生活に密接しているものであり、自分も大切なを見つめ直してみたいなと思った時間でした。皆さんにとって、大切な物・者・言葉はなんでしょうか。皆様、本年もよろしくお願ひいたします。次号もお楽しみに！

